



年頭のご挨拶



あけましておめでとうございます。昨年と同様に本年も宜しくお願いいたします。

さて今年は60年に1回巡ってくる丙午（ひのえうま）になります。60年前の1966年の丙午では女性差別的な根拠のない迷信のために出生数が激減した年でした。前年比で25%も減ったそうですが、それでも136万人の赤ちゃんが生まれました。ところが昨年は70万人を下回っており、現代の出生率がいかに低くなっているかが分かります。出生率の低下については結婚、家庭、雇用・就労、経済、価値観などさまざまな要因があると言われていますが、国が政策的に進めてきたこども家庭庁ができて出生率の改善には至っていません。少子化対策だけでなく、虐待、こどもの自殺、不登校なども減少の兆しがなく、こどもとその家族にとって厳しい時代が続いています。しかし、国も様々な施策を打ち出しながらより良い方向に向かって改善を試みています。子どもが減った分だけ子どもにかかる予算を減らすのではなく、逆に更なる予算を充てて対策を講じています。

あおぞら園もこども家庭庁の施策の中から「インクルージョン」や「こどもの意思の尊重」等々、様々な概念をヒントとして取り入れながら事業運営をしています。何らかの成果は必ず後からついてくることを信じて、今後もお子様とご家族の支援、地域とのつながりを大切にしながら各事業に取り組んでいきます。今年は午年ということで、馬が前に進むイメージで更なる発展・飛躍を目指していききたいと思います。（園長・若林）



あおぞら同窓会を開催しました ～ 卒園後も安心できる場所に ～

11月30日（日）に、あおぞら園を卒園した小学2年生までの方を対象に、同窓会を行ないました。久しぶりのあおぞら園に、初めのうちは少し緊張した表情も見られましたが、毎日過ごした懐かしい保育室で、当時好きだった玩具で遊んだり、てんとう虫の部屋で身体を動かしているうちに、自然と笑顔になり、楽しそうな声が聞こえてきました。

保護者の方々と、幼稚園や小学校でのお子様の様子や、今の困り事についてもお話をすることができました。卒園後の姿を知る事で、在園中にできる支援について改めて考える機会となり、職員も有意義な時間になりました。卒園しても、ぜひ親子であおぞら園に顔を見せに来てもらえたらと思います。いつでも、気軽に帰って来られる、皆さんにとって安心できる場所であれば嬉しいです。（福井）



今年もアートシップ2025に出展 ～ 自己を表現することこそがアート ～

12月3日（水）～12月9日（火）に明石市立文化博物館でアートシップ2025が開催されました。あおぞら園・きらきらの保護者の方々、多くの地域の方々にご来場いただき、大盛況に終わりました。あおぞら園・きらきらも参加させて頂き、『私だけの表現は手を伸ばした先にある～「やってみたい」を全力で！』をテーマに制作活動に取り組みました。お子様の好きなことや、夢中になれることを大切に、お絵描きや粘土、レゴブロックなどの作品を展示させて頂きました。一人ひとり、個性のある作品が並び共に、写真を通してお子様のキラキラした瞬間をたくさんの方々に見て頂けたことを嬉しく思います。



今回、アートシップの制作活動の中で、「部活動」という形で様々な活動に取り組んできましたが、日々の療育においても、まずはお子様の好きなことや、やってみたいと思う気持ちを第一に考えて関わっていくことが大切だと改めて感じました。どんな些細なことでも、お子様自身が「楽しい」と感じられることが一番です。

アートシップ全体でも素晴らしい作品が展示されていましたが、その過程の中で、自己を表現することこそがアートだと感じています。ぜひ、お子様の好きなことや、夢中になれることを見つけてもらえたらと思います。（藤原）

第2回パパの勉強会・交流会 ～ 今回は父子療育を実施 ～



12月14日（日）にあおぞら園にて「パパの勉強会・交流会」を開催しました。当日はお父様とお子様と一緒に登園し、園での普段の生活や遊びを体験していただく貴重な時間となりました。

始まりの会では、遊戯室に集まり、お名前呼びを行いました。自分の名前を呼ばれて元気に返事をしたり、親子で一緒に手を挙げたりと、温かい雰囲気の中で会がスタートしました。親子の触れ合い遊びでは、歌やリズムに合わせて体を動かし、たくさんの笑顔が見られました。その後は各クラスに分かれ、普段園で行っている遊びを体験していただきました。スライムなどの感触遊びや、運動遊びなどを通して、お子様の普段の療育中の様子や成長を感じていただけたのではないかと思います。

パパの交流会では、お子様は職員と過ごし、お父様同士で子育てや日々の悩み、楽しさについて語り合う時間を持ちました。「他のお父さんの話が聞けて参考になった」「妻が話している様子を実際に見ることができて、子どもの課題を考えることができた」といった感想もあり、有意義な交流の場となりました。（井坂）



クリスマス会を通して ～ 一人ひとりの感じ方を大切に ～



【きらきら】 12/19（金）～25（木）の期間でクリスマス会を行いました。製作ではクリスマスツリーにシールを貼って飾りつけを行ったり、サンタの顔を作ったりしました。完成した作品を壁に掲示することで、クリスマスの雰囲気を味わい、サンタが来ることを楽しみにするお子様もいらっしゃいました。

サンタ登場では、自分からサンタに近づきハイタッチをして喜ぶお子様やびっくりするお子様、嬉しいけど恥ずかしそうにするお子様、初めての経験で少し怖かったお子様など様々な反応を見せてくれました。サンタからプレゼントを受け取り、記念写真を取る事ができました。保護者の方からは、去年と比べて「成長を感じた」「反応が変わっていた」等のお話をいただきました。これからも、お子様一人ひとりの感じ方・取り組み方を大切に、様々な経験を積んでいけるよう支援していきたいと思います。（中村）



【あおぞら】 今年度のクリスマス会では、ドラム、アコースティックギター、ベース、クラリネット、ピアノの5種類の楽器を職員が演奏し、「ジングルベル」「あわてんぼうのサンタクロース」をサンタさんと一緒に歌いました。普段とは違う活動に驚いた様子もありましたが、お子様たちの笑顔の多いクリスマス会になったと感じました。サンタさんにプレゼントをもらう時も、嬉しそうにプレゼントを受け取っていました。



今年もお子様一人ひとりが楽しめるクリスマス会になったのではないかと思いますので、これからもお子様の笑顔あふれる行事を企画していきたいと思います。（池崎）

あおぞら・ゆりかごセミナーのご案内



今年度のあおぞら・ゆりかごセミナーを以下のとおり開催することが決まりました。

◇ テーマ:「こどもの安心・安全な環境を考える ～家庭・学校での取り組みの実践を通じて～」

◇ 日時:2026年2月21日（土）14:00～16:30

◇ 場所:ふれあいプラザあかし西1F 多目的室

はじめに、高知大学の宮田賢吾氏により、同テーマに関するお話を頂きます。その後、長い子育て経験をお持ちのベテラン保護者2名に、自らの経験についてお話していただきます。最後に宮田氏も含めて皆でディスカッションをして、テーマの深堀りができたらと考えています。少人数開催でのセミナーに設定していますので、ご希望の方はお早めにお申し込み頂ければと思います。